

■2015年度 研究成果の公開状況

【学術論文】

1. Kimura, K., & Katayama, J. (2016). Cooperative context is a determinant of the social influence on outcome evaluation: An electrophysiological study. *International Journal of Psychophysiology*, 100, 28-35.
2. 松永昌宏・小林章雄・柴田英治・大竹恵子・大平英樹 (2016). 幸福感を高める心理学的介入による心身の健康の増進 *Medical Science Digest*, 42(1), 2-5.
3. Kawai, T., Yamada, H., Sato, N., Takada, M., & Matsumoto, M. (2015). Roles of the lateral habenula and anterior cingulate cortex in negative outcome monitoring and behavioral adjustment in nonhuman primates. *Neuron*, 88, 792-804.
4. 山岸厚仁・佐藤暢哉 (2016). ラットの扁桃体基底外側核損傷が強化子の価値低減効果に及ぼす影響 *人文論究* (関西学院大学文学部), 65 (4), 63-74.
5. 三浦麻子・小森政嗣・松村真宏・前田和甫 (2015). 東日本大震災時のネガティブ感情反応表出—大規模データによる検討— *心理学研究*, 86, 102-111.
6. 三浦麻子・鳥海不二夫・小森政嗣・松村真宏・平石界 (2016). ソーシャルメディアにおける災害情報の伝播と感情: 東日本大震災に際する事例 *人工知能学会論文誌*, 31, NFC-A_1-9.
7. 成田健一 (2015). 高齢者のパーソナリティ *老年精神医学雑誌*, 26, 1405-1416.
8. 里見香奈・成田健一 (2016). 「自己」にかかわる心理学的研究の計量書誌学的分析—わが国の学会誌に掲載された実証論文のタイトル分析:1980年-2013年— *関西学院大学心理科学研究* (関西学院大学文学部総合心理科学科), 42, 25-32.
9. 山本亜実・大城未緒・南由歩・竹谷怜子・小野久江 (2016). 乗馬初心者に対する乗馬体験の心理的・生理的影響 *関西学院大学心理科学研究* (関西学院大学文学部総合心理科学科), 42, 1-5.
10. 杉原聡子・米山直樹 (2015). 自閉スペクトラム症児の運筆 訓練時における親の指導行動に対するビデオ・フィードバック *行動分析学研究*, 30, 13-23.
11. 金喬・米山直樹 (2016). 知的能力障害を伴う自閉スペクトラム症幼児に対する課題分析を用いた着替え指導 *関西学院大学心理科学研究* (関西学院大学文学部総合心理科学科), 42, 13-18.
12. 西川若菜・米山直樹 (2016). 自閉スペクトラム症児に対するPECSを用いた要求行動の形成—エラー修正法の変更を加えた指導— *関西学院大学心理科学研究* (関西学院大学文学部総合心理科学科), 42, 7-12.
13. 田宮めぐみ・米山直樹・松見淳子 (2016). 放課後等デイサービスで参加児童が集団活動中に示す離席行動に対する機能的アセスメント研究 *関西学院大学心理科学研究* (関西学院大学文学部総合心理科学科), 42, 19-24.

【書籍】

1. 大竹恵子 (2015). 第6章 ポジティブ心理学 西垣悦代・堀正・原口佳典(編), コーチング心理学概論 (pp. 119-138) ナカニシヤ出版.

【学会発表】

1. 片山順一 (2015). 生理心理計測の人間工学的応用 (シンポジウム) 日本人間工学会第56回大会. 2015/6/13 (芝浦工業大学芝浦キャンパス)
2. 大森駿哉・片山順一・大竹恵子 (2015). ポジティブ感情が親切行動場面における思考—行動レパトリー想起数と生理的反応に与える影響 日本心理学会第79回大会. 2015/9/23 (名古屋国際会議場)
3. 片山順一 (2015). 言語の心理学研究・神経科学研究を応用につなげる—「わかり」の評価・可視化・促進に向けて— (シンポジウム) 日本心理学会第79回大会. 2015/9/24 (名古屋国際会議場)
4. Kimura, T., & Katayama, J. (2015). The spatial expectation is modulated by congruency between approach of visual stimuli and location of subsequent somatosensory stimuli. 55th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research. 2015/10/2 (Seattle, U.S.)
5. Naka, S., & Katayama, J. (2015). The presentation timing if task irrelevant stimuli and the distraction effect. 55th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research. 2015/10/2 (Seattle, U.S.)
6. Fuseda, K., Nagano, Y., & Kobayashi, T. (2015). Effects of attractiveness of opposite sex pictures on physiological responses. 55th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research. 2015/10/3 (Seattle, U.S.)
7. Omori, S., Otake, K., & Katayama, J. (2015). Effects of positive emotion on physiological responses and thought-action repertoires regarding helpful behavior. 55th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research. 2015/10/3 (Seattle, U.S.)
8. Sugimoto, F., & Katayama, J. (2015). Difficulty of visual oddball task modulates amplitude of P3 elicited by task-irrelevant auditory distractors (Symposium). 55th Annual Meeting of the Society for Psychophysiological Research. 2015/10/3 (Seattle, U.S.)
9. 伏田幸平・片山順一 (2015). プローブ刺激に対する P300 は身体的魅力の違いを反映する—無関連プローブ法を用いた動画刺激に対する注意量推定による検討— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)
10. 木村司・片山順一 (2015). 身体に接近する視覚刺激系列の違いが後続する体性感覚事象の空間的予測に与える影 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)

11. 伏田幸平・小林剛史・長野祐一郎・片山順一 (2015). 心拍数で魅力を測る—高/中/低魅力の性的/非性的画像に対する心拍数の反応— 平成27年度日本人間工学会関西支部大会. 2015/12/5 (大阪府立大学 I-siteなんば)
12. 大竹恵子 (2015). ウェルビーイングとパフォーマンスを高める心理学：ポジティブ心理学とコーチング心理学 (シンポジウム) 日本心理学会第79回大会.
13. 金田亜里沙・大竹恵子 (2015). 母親の自身と子に対する楽観性—子のいない既婚女性との比較— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)
14. 北條由華・大竹恵子 (2015). 課題固有の自己効力感が課題成績と目標設定の変容に与える影響—ポジティブフィードバックの影響に注目して— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)
15. 湯川徳子・大竹恵子 (2015). 家庭での食事場面に対する母親の意識についての研究—母娘ペアデータを用いた間主観性の検討— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)
16. 井上和哉・佐藤暢哉 (2015). 選択誘発性選好の生起に刺激の再評価は不要である 日本認知心理学会第13回大会. 2015/7/4 (東京大学)
17. Sato, N. (2015). Effects of lesions of the retrosplenial cortex on episodic memory in rats: answering to an unexpected question about past self-behavior. 第38回大会日本神経科学学会. 2015/7/28 (神戸国際会議場)
18. Hayashi, T., & Sato, N. (2015). The experiment of effect of the retrosplenial cortex lesion in shortcut task. 第38回大会日本神経科学学会. 2015/7/30 (神戸国際会議場)
19. 井上和哉・佐藤暢哉 (2015). 日本の心理学の統計教育の現状—書籍の分析による予備的検討— 日本教育心理学会第57回総会. 2015/8/27 (朱鷺メッセ)
20. 井上和哉・佐藤暢哉 (2015). 振動周波数が視覚刺激の時間知覚に与える影響 日本心理学会第79回大会. 2015/9/24 (名古屋国際会議場)
21. 道野栞・佐藤暢哉 (2015). 視点移動の方法が空間記憶に与える影響 日本心理学会第79回大会. 2015/9/24 (名古屋国際会議場)
22. 佐藤暢哉 (2015). ナビゲーションにおける意思決定 平成27年度アルコール・薬物依存関連学会合同学術総会. シンポジウム. 2015/10/13 (神戸国際会議場)
23. Kawai, T., Yamada, H., Sato, N., Takada, M., & Matsumoto, M. (2015). Outcome monitoring and behavioral adjustment by putative pyramidal neurons and interneurons in the primate anterior cingulate cortex during a reversal learning task. 45th Annual Meeting of Society for Neuroscience. 2015/10/21 (Chicago, U.S)
24. Sato, N., Tate, K., Okada, M. (2015). Rats demonstrate helping behavior toward a soaked cagemate. 45th Annual Meeting of Society for Neuroscience. 2015/10/21 (Chicago, U.S)

25. 山岸厚仁・佐藤暢哉 (2015). 古典的条件づけ—道具的条件づけ間転移の文脈制御— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)
26. 福井隆雄・井上和哉・小松丈洋・佐藤暢哉 (2015). ヘッドマウントディスプレイを用いた到達把持運動における視覚・触覚情報の寄与に関する検討— 日本バーチャルリアリティ学会VR心理学研究委員会. 2015/11/13 (鹿児島大学)
27. 光藤優花・小川洋和 (2015). 静止画を用いた顔と声のマッチングにおける性格特性の印象の役割— 日本認知心理学会第13回大会. 2015/7/4 (東京大学)
28. 安枝貴文・小川洋和 (2015). 観察者の表情筋の操作が恐怖表情の想起に干渉する— 日本認知心理学会第13回大会. 2015/7/4 (東京大学)
29. 白井理沙子・小川洋和 (2015). トライポフォビア喚起画像の特性がもたらす注意処理への影響— 日本認知心理学会第13回大会. 2015/7/5 (東京大学)
30. 白井理沙子・坂野逸紀・小川洋和 (2015). Saccade trajectory revealed attentional capture and inhibition by tryphobic images. 第38回神経科学学会. サテライトシンポジウム. 2015/8/1 (京都大学 稲盛財団記念館)
31. 光藤優花・小川洋和 (2015). 顔と声のマッチングにおける顔の周辺情報の役割— 第7回多感覚研究会. 2015/11/7 (東京女子大学)
32. Shirai, R., Banno, H., & Ogawa, H. (2015). The spectrum characteristics of tryphobic images evoke saccade trajectory curvatures. The 23rd Annual Workshop on Object Perception, Attention, and Memory. 2015/11/19 (Chicago, U.S.)
33. Katsurada, E., Akazawa, J., & Tanimukai, M. (2015). Institutionalized children's academic competence, adaptation to school, self-esteem, and people around them. The 4th Annual International Conference on Education, Psychology, and Society. 2015/9/2 (Kuala Lumpur, Malaysia)
34. 植田瑞穂・桂田恵美子 (2015). 共感テストにおける無秩序/混乱型愛着の子どもの行動— FOUR WINDS乳幼児精神保健学会第18回全国学術集会弘前大会. 2015/11/1 (弘前市民会館)
35. 植田瑞穂・桂田恵美子 (2015). 養育者評定用の幼児共感尺度開発に向けた予備的研究— 母親が評定する幼児の共感の構成および妥当性— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)
36. 里見香奈・成田健一 (2015). 「自己」にかかわる心理学的研究の計量書誌学的分析— 1980年代以降のわが国の学会誌における論文タイトルを対象として— 日本心理学会第79回大会. 2015/9/24 (名古屋国際会議場)
37. 里見香奈・成田健一 (2015). 5答法による自発的自己概念の測定—20答法との比較から— 関西心理学会第127回大会. 2015/11/8 (関西学院大学)

38. 中島定彦 (2015). ラットは走ると気分が悪くなって土を食べる—異食行動で測定する走行性悪心— 日本基礎心理学会第34回大会. 2015/11/28 (大阪樟蔭女子大学小阪キャンパス)
39. Tsujimoto, E., Yamamoto, A., Taketani, R., & Ono, H. (2015). A pilot study on interpersonal counseling for depression, suicidal ideation, and stress coping strategies in Japanese undergraduates. 28th World Congress of the International Association for Suicide Prevention. 2015/6/17 (Montréal, Canada)
40. 辻本江美・山本亜実・竹谷怜子・小野久江 (2015). 対人関係カウンセリングが有用であった学生相談の一事例 第12回日本うつ病学会総会・第15回日本認知療法学会. 2015/7/17 (京王プラザホテル)
41. 山本亜実・辻本江美・竹谷怜子・小野久江 (2015) 対人関係カウンセリングによる大学生の抑うつ状態の変化について 第12回日本うつ病学会総会・第15回日本認知療法学会. 2015/7/17 (京王プラザホテル)
42. 杉原聡子・米山直樹 (2015). スタッフトレーニングプログラムにおけるビデオ・フィードバックの効果 日本行動分析学会第33回年次大会. 2015/8/28 (明星大学)
43. 岡綾子・米山直樹 (2015). 知的能力障害を伴う自閉スペクトラム症児に対する協同ボール運び活動を促進する指導 日本行動分析学会第33回年次大会. 2015/8/29 (明星大学)
44. 金喬・米山直樹 (2015). 自閉スペクトラム症と知的能力障害を伴う幼児に対する課題分析を用いた着替え指導 日本認知・行動療法学会第41回大会. 2015/10/2 (仙台国際センター・東北学院大学)
45. 西川若菜・米山直樹 (2015). 自閉スペクトラム症児に対するPECSを用いた要求行動の形成 日本認知・行動療法学会第41回大会. 2015/10/2 (仙台国際センター・東北学院大学)
46. 杉原聡子・米山直樹 (2015). スタッフトレーニングプログラムにおけるビデオ・フィードバックの効果—指導行動間の獲得性に注目して— 日本認知・行動療法学会第41回大会. 2015/10/2 (仙台国際センター・東北学院大学)
47. 田宮めぐみ・辻本友紀子・米山直樹・松見淳子 (2015). 放課後等デイサービスで参加児童が集団活動中に示す離席行動に対する機能的アセスメント研究 日本認知・行動療法学会第41回大会. 2015/10/2 (仙台国際センター・東北学院大学)

【その他（講演等）】

なし